

～おむすび～

「おにぎり」・「にぎりめし」のことですが、神様の名前と深くかかわるのが「おむすび」というよび方です。最初にお生まれになった三柱の神様のうちの二柱、「高皇産霊神（タカミムスビノカミ）」「神産巢日神（カミムスビノカミ）」は生成・調和の神様といわれ、霊力がことのほか強い神様です。お米は「いのちの根」ともいわれ、天照大御神様がお与えくださった天上の世界の食べ物です。また、三角の形が多いのは、山にたとえているといわれます。生きていく上で必要な多くのものを育（はぐく）み、山の神が野に降りて田の神となることは広く知られています。

「むすび」の神さまの力、お米の力、お山の力をいただき、霊力をもいただいて、心と体の糧（かて）にする。おむすびというよび方には神さまと共に生きてきた日本の心が読み取れます。



～御代替わりを記念して「生島むすび（塩おむすび）」の頒布～

おむすびに、お塩を程よくまぶしたものが「塩おむすび」です。塩はお水などととも、なくてはならないものです。いのちの基（もと）・清めの力がおむすびに加わり、お祓いなどの節目には、またとない食べ物です。令和の御代替わりの年にあたり、皇室縁（ゆかり）の当社では六月三十日に行う「大祓」のあとに、「生島むすび」として塩おむすびをお頒（わか）ちします。体の中からもお清めください。

なお、数は十分にご用意しますが、限りがありますのでご了承ください。多くの氏子崇敬者の皆様にご参加いただきます様をお願い致します。